

2023年
4-9月期

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、着実に回復しつつある。

●2023年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



ふつう

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

2023年4-9月期の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回りました。百貨店売上高は前年同期を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同期を上回り、中古車販売台数は、前年同期を上回りました。

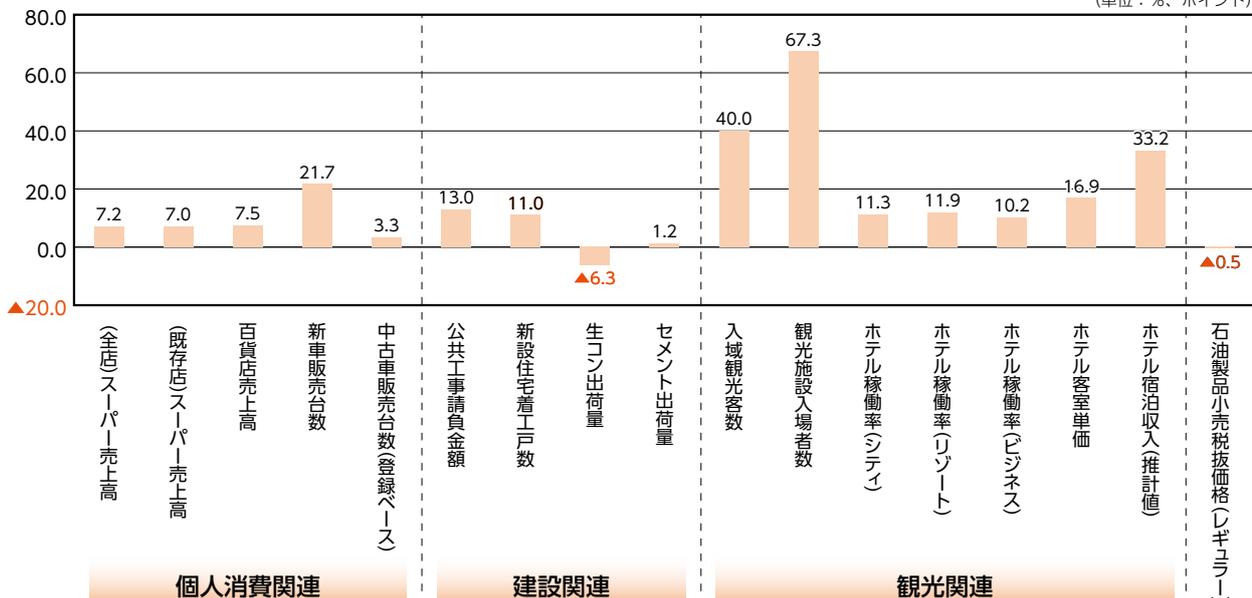
建設関連では、公共工事請負金額は前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を上回りました。建設資材である生コンは前年同期を下回り、セメントは上回りました。

観光関連では、入域観光客数は、前年同期を上回りました。観光施設入場者数は、前年同期を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同期を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）は前年同期を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加により着実に回復しつつあり、建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。よって、「**県内景況は、着実に回復しつつある**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





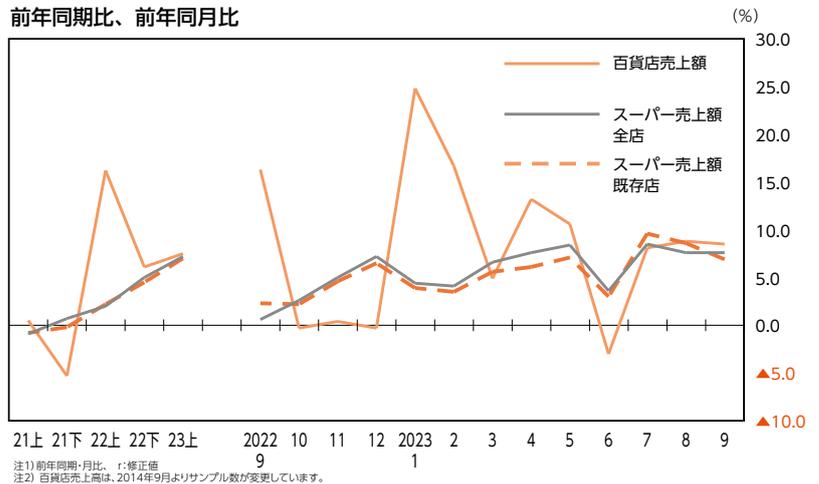
個人消費



(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同期を上回る。百貨店売上高は前年同期を上回る。

2023年4-9月期の個人消費関連は、スーパー売上高「全店ベース（前年同期比7.2%増）」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同7.7%増）」は、物価高騰の影響や新型コロナウイルスの5類移行に伴う来客数増化などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同6.2%増）」や、家電を含む「家庭用品（同5.6%増）」は、来客数の増加などにより、前年同期を上回りました。

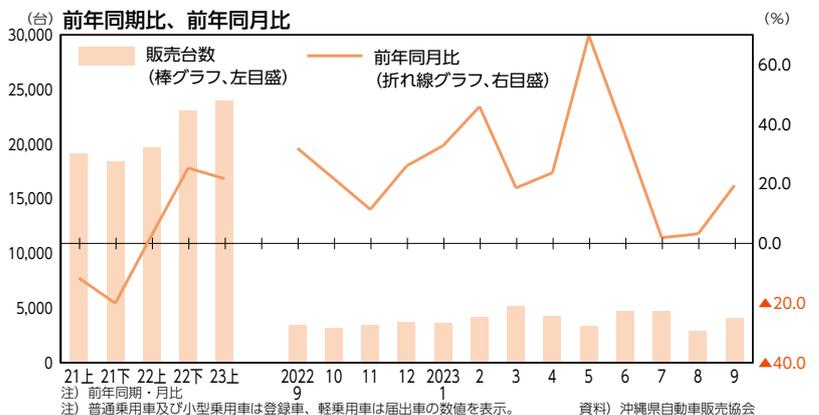


「**既存店ベース（同7.0%増）**」は、前年同期を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同7.3%増）」は、物価高騰の影響や、新型コロナウイルスの5類移行に伴う来客数の増加などにより、前年同期を上回りました。「衣料品（同6.4%増）」、「家庭用品（同5.3%増）」は、来客数が増加したことなどから前年同期を下回りました。

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの5類移行やインバウンド含む観光客数の回復に伴う来店客数の増加などにより前年同期を上回りました（同7.5%増）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同7.9%増）」は、来客数の増加や外出意欲の高まりなどにより売上が伸長し前年同期を上回りました。「食料品（同8.8%増）」は、来客数増加に加え、催事企画の好調などにより前年同期を上回りました。「雑貨（同6.3%増）」は、インバウンド含む観光客からの売り上げ好調などにより前年同期を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同期を上回る。

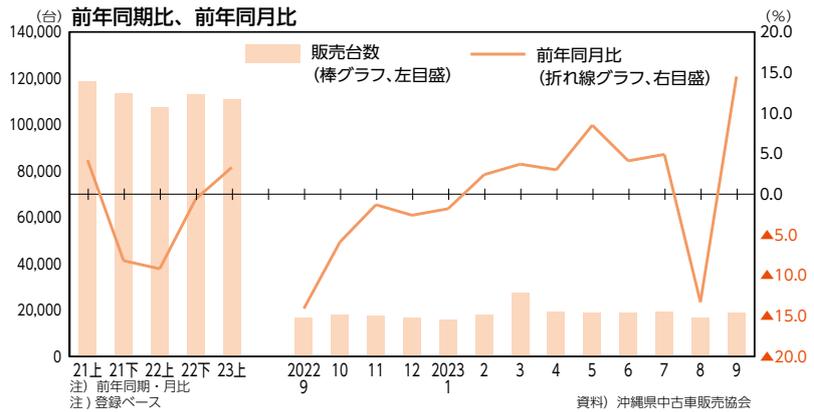
新車販売台数は、全体で23,978台（同21.7%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同71.0%増）」、「小型乗用車（同9.1%増）」、「軽乗用車（同21.3%増）」は、供給制限の緩和や、観光シーズンにおけるレンタカー需要の回復などにより、前年同期を上回りました。



※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

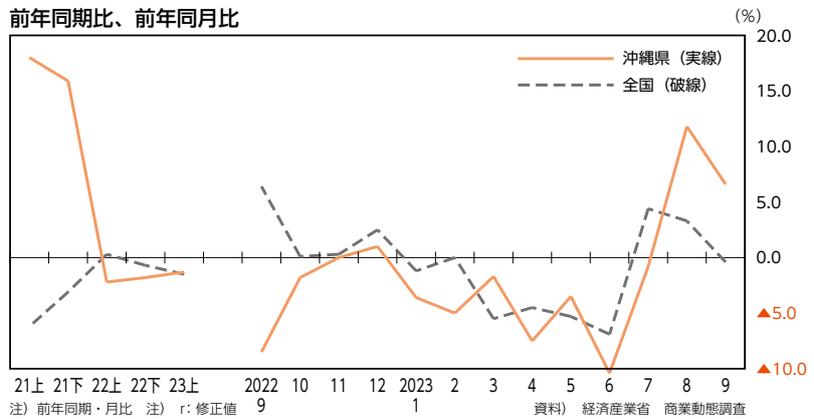
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は、前年同期を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で110,971台（同3.3%増）となり、前年同期を上回りました。車種別では、「乗用車（同4.9%増）」、「軽自動車（同2.2%増）」共に中古車価格相場の落ち着きなどにより、前年同期を上回りました。



④ 大型家電専門店販売額…大型家電専門店販売額は、前年同期を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同期を上回りました。

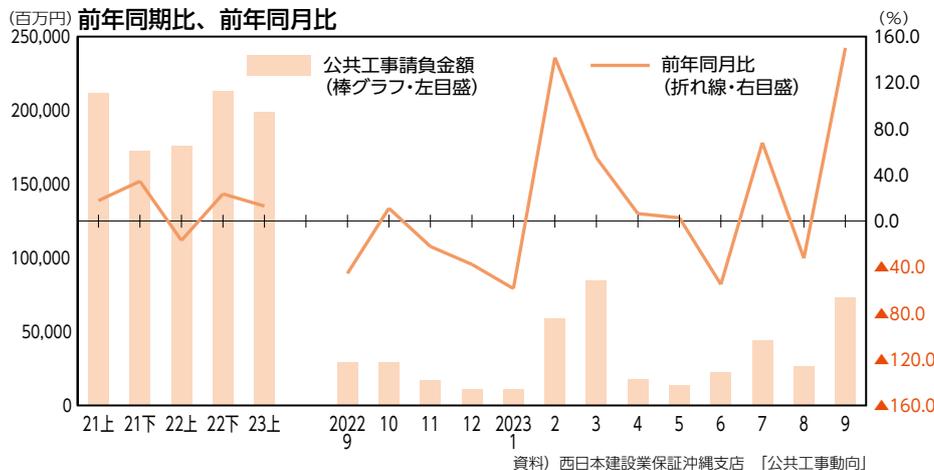


建設関連



(ふつう)

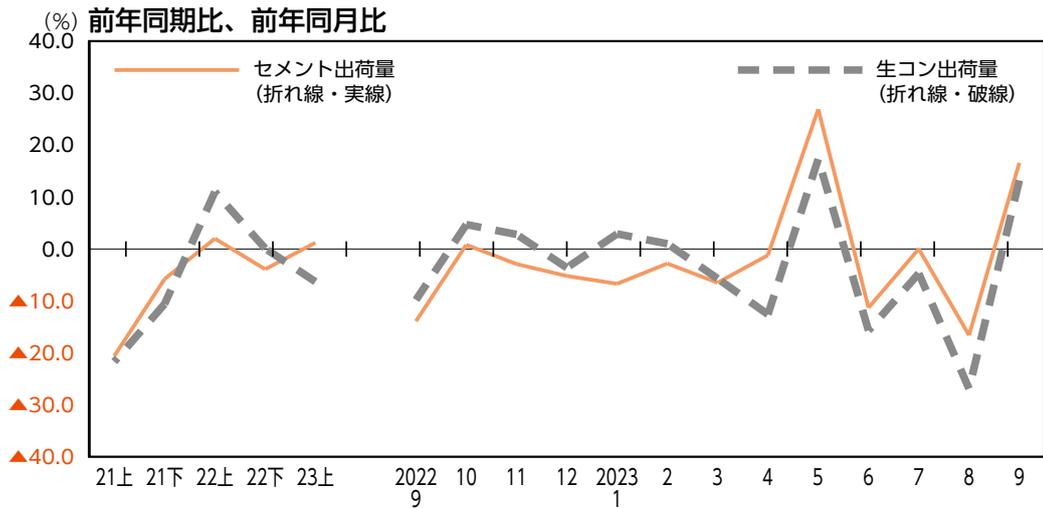
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



2023年4-9月期の公共工事請負金額は、前年同期比13.0%増の1,991億2,300万円となりました。発注者別でみると、「市町村(同27.5%増)」、「沖縄県(同15.3%増)」、「独立行政法人等(同20.0%増)」、「国(同7.4%増)」は前年同期を上回りました。一方、「その他の公共的団体(同28.3%減)」は前年同期を下回りました。

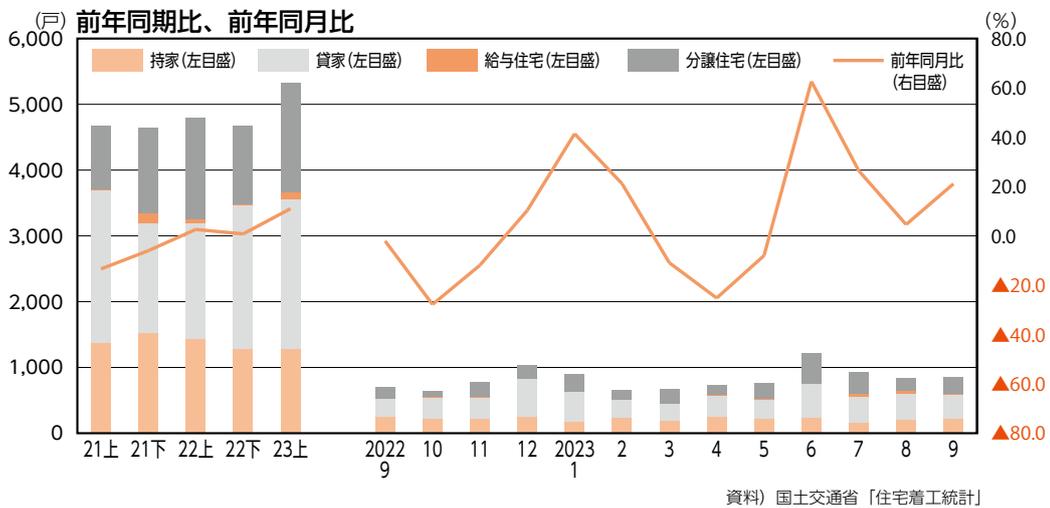


② 建設資材…生コンは前年同期を下回り、セメントは上回る。



建設資材関連では、**生コン**の出荷量は6.3%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向けは前年同期より10.7%下回り、民間工事向けは3.9%下回りました。**セメント**出荷量は1.2%増と前年同期を上回りました。

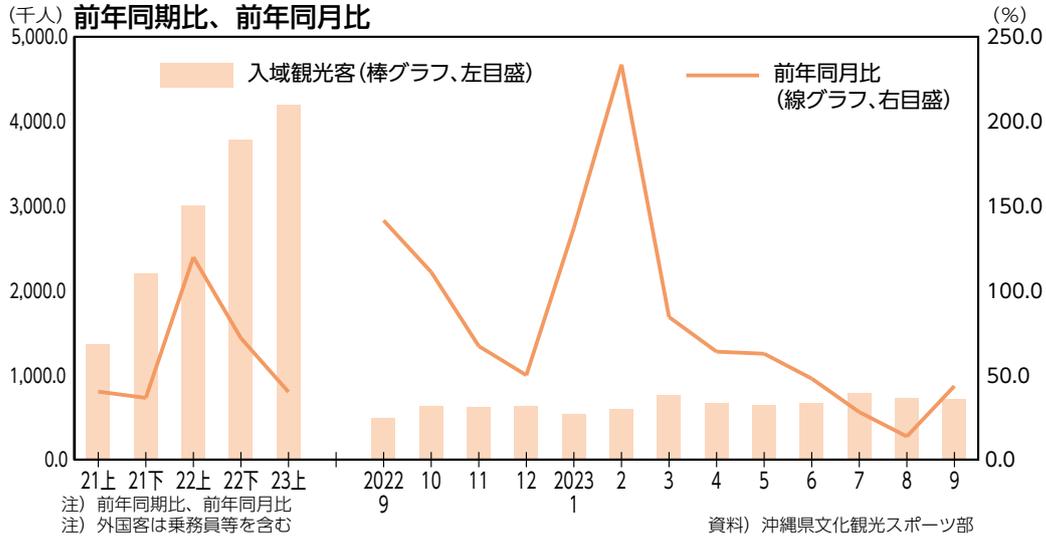
③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を上回る。



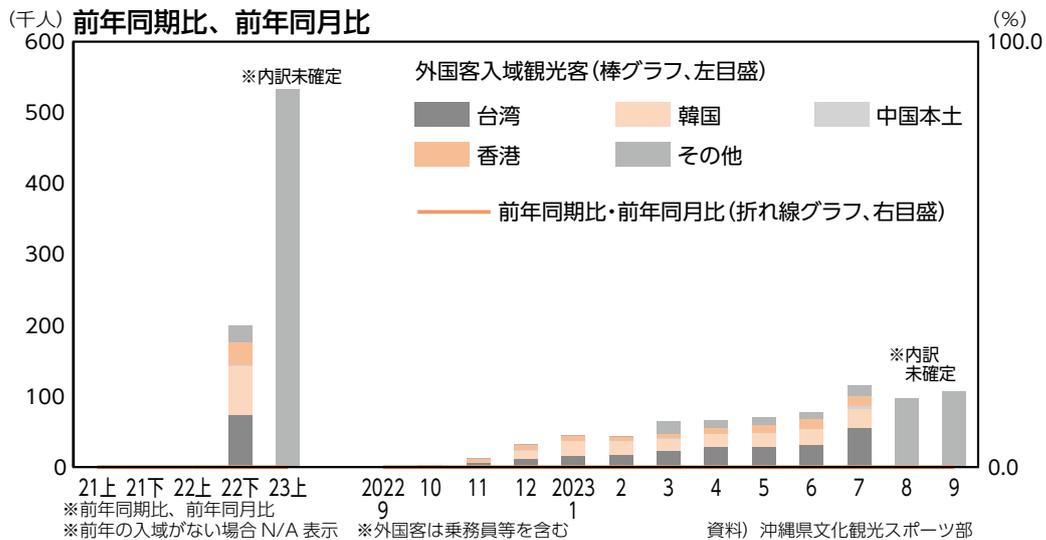
新設住宅着工戸数は、全体で5,330戸となり11.0%増と前年同期を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家 (同29.4%増)」、「分譲住宅 (同8.3%増)」、「給与住宅 (同63.2%増)」は前年同期を上回りました。一方、「持家 (同10.8%減)」は前年同期を下回りました。



① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を上回る。



外国客 入域観光客数…532,500人の入域となる。



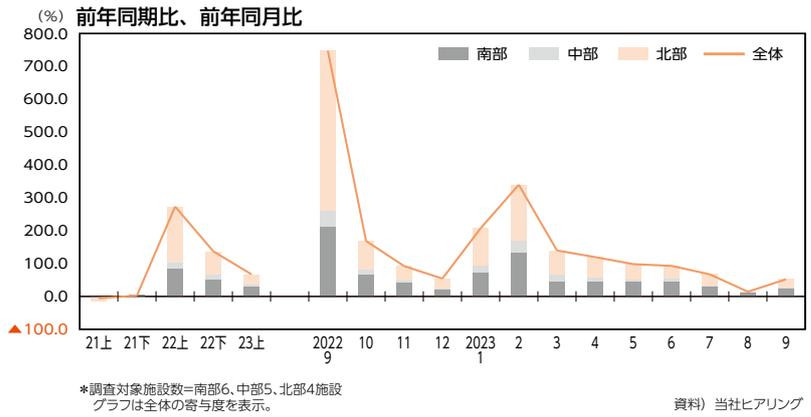
2023年4-9月期の入域観光客数は419万5,900人となり、前年同期を上回りました(40.0%増)。全国旅行支援の実施や、外国人観光客の増加などから、前年同期を上回りました。

外国客は国際航空路線やクルーズ船の再開が進んだことで回復しつつある一方、中国路線の再開が遅れていることや那覇空港の受入れ態勢などの懸念もあります。



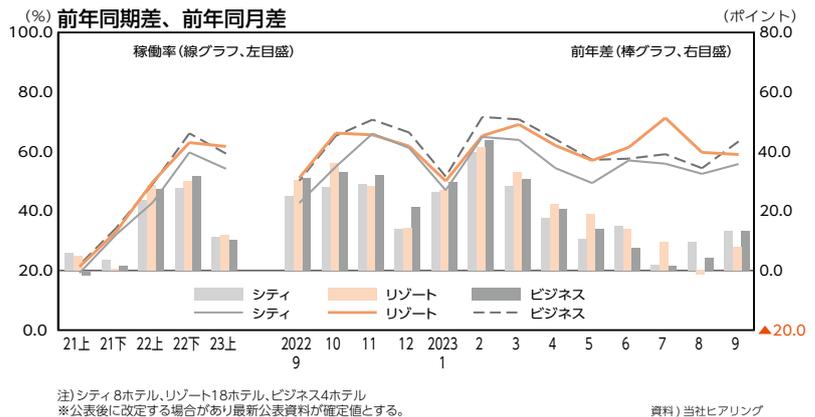
② 観光施設入場者数…前年同期を上回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同期より67.3%増加しました。地域別にみると、北部にある観光施設は同32.4%増、南部は同96.9%増、中部は同52.7%増となりました。
 (参考) 2019年同期比では、全体で38.9%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は33.1%の減少、南部は44.6%の減少、中部は47.4%の減少となっています。



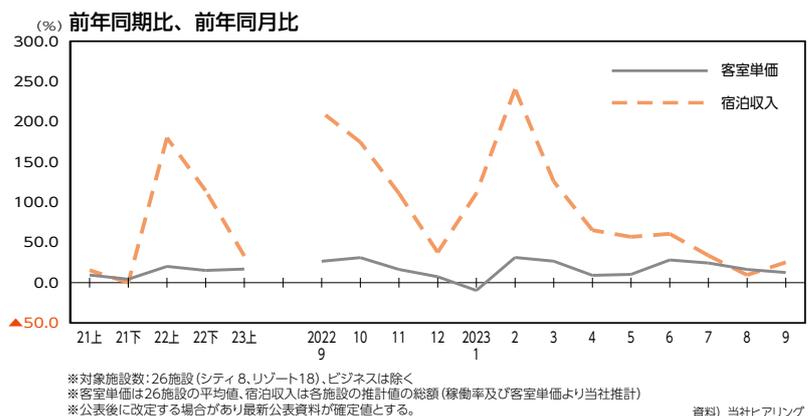
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同期を上回る。

2023年4-9月期の県内ホテル稼働率は、シティホテルが55.8%と前年同期差13.1ポイント上昇、リゾートホテルが59.0%と同7.9ポイント上昇、ビジネスホテルは63.4%と同13.2ポイント上昇しました。
 (参考) 2019年同期比では、シティホテルは23.5ポイントの減少、リゾートホテルは17.3ポイントの減少、ビジネスホテルは16.6ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価、宿泊収入ともに前年同期を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同期比16.9%増と前年同期を上回りました。**宿泊収入**も同33.2%増と前年同期を上回りました。
 (参考) 2019年同期比では、客室単価は8.9%の増加、宿泊収入は16.0%減少となっています。





企業倒産

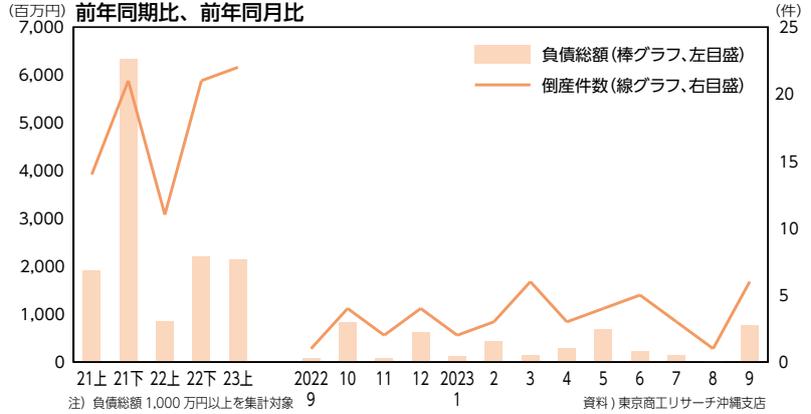


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を上回る。

2023年4-9月期の企業倒産件数

は、22件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は8件）となり、前年同期より100.0%上回りました。負債総額は21億4,600万円となり、前年同期より153.1%上回りました。



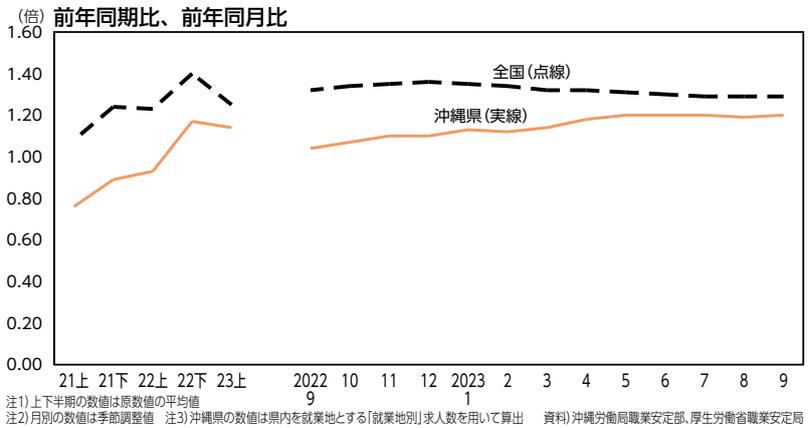
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国ともに上昇。

2023年4-9月期の雇用状況は、有効求人数（原数値平均）は前年同期比10.7%増の32,894人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比9.5%減の28,925人となり、有効求人倍率（同上）は1.14倍と、前年同期より0.21ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前年同期より上昇、全国は同水準。

完全失業率（原数値平均）は、3.5%となり前年同期より0.4ポイント上昇しました。

